

いわて平泉米だより

良質米産地としての地位を誓う

いわて平泉米生産者大会

JAや一関市、平泉町、農業関係機関でつくる一関地方良質米生産協議会は8月22日、いわて平泉米生産者大会を開きました。生産者代表や関係機関約300人が参加。「良質米産地」としての地位確立などを目指し、高品質米の安定供給を目標にした「売れる米づくり8-9-10運動」などを徹底していくことを確認しました。

2016年産米は、出荷申出数量は72万8273袋（1袋30キロ）の契約を生産者と締結。飼料用米の拡大で15年比94.6%の契約量と減少しました。



良質米生産を誓った生産者大会

消費の減少傾向による厳しい販売環境を踏まえ、安全・安心で食味豊かな米を供給するため「売れる米づくり8-9-10運動」の徹底と適期刈り取り、水分調整の厳守を呼び掛けました。集落営農組織連絡協議会の小野正一会長は「地域の恵まれた環境を生かし、特別栽培米や限定純情米の拡大により食味のよい米生産のため一層努力していく」と強調しました。